

円山川・出石川でアユ産卵場造成実験を行いました

2日間で計136名のボランティアが参加！

～豊岡河川国道事務所～

円山川水系ではH29にアユの遡上数が大きく減少したことをきっかけに、毎年10月頃に産卵場造成実験を行っています。産卵場造成実験とは、大きな石や砂が堆積する等産卵に不適な状態になっている河床を、じょれん等で耕して浮き石状態にして産卵しやすい河床環境を創出するものです。今年は昨年に引き続き、豊岡市主催の円山川本川での実験に参加しました。また、豊岡河川国道事務所主催の実験を出石川で行いました。2日間で計136名のボランティアが集まって実験を行いました。

《概要》

日時：令和6年10月1日・2日 13:30～15:30

場所：円山川 中郷遊水地（下池）前（円山川19.0km付近）

出石川（出石川8.3km付近）

参加者：136名（2日間合計）

円山川漁業協同組合、日本コウノトリの会、加陽地区づくり委員会、コウノトリ市民研究所、但東野あそびくらぶいつなっと、コウノトリ市民レンジャー、コウノトリ文化館、兵庫県立大学、地域のみなさま、三菱電機システムサービス（株）、友田建設（株）、（株）徳綱建設、（株）川嶋建設、巴建設、（株）西山工務店、復建調査設計（株）、リバーフロント研究所、豊岡市、兵庫県豊岡土木事務所、豊岡河川国道事務所

位置図



円山川の様子 ～10月1日（火）実施～



川幅が広いので重機も使って作業



じょれん等を使って参加者みんなで耕します



今年で4年目！73名が参加しました

【アユの生態メモ】



秋：産卵し、2週間程度で孵化
冬：海へ下り、成長
春：遡上し、付着藻類等を餌に成長
夏：縄張りを形成

寿命が1年なので「年魚」と呼ばれる！

【作業前】



固着した河床

【作業後】



浮き石状態

実施結果の速報！

10月11日～13日に
円山川実施箇所
でアユの産卵を
確認しました！



出石川の様子 ～10月2日（水）実施～



人力で耕うん作業を行います



アユの餌となる付着藻類の生長を阻害する
外来植物オオカナダモの駆除



今年で6年目！63名が参加しました

【問い合わせ先】

国土交通省
〒668-0025

近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 流域治水課
兵庫県豊岡市幸町10-3 TEL0796-22-3126（代表）

